



学生による和歌山県田辺市を調査地とした活動報告 地球の歩き方 T&E web site にも掲載予定

追手門学院大学（大阪府茨木市：学長 坂井東洋男）地域創造学部の学生が、和歌山県田辺市で行ったフィールドワークの成果を発表する報告会を、2月8日に同市庁舎にて開催します。

追手門学院大学と和歌山県田辺市（市長 真砂 充敏）は、2015年に連携協力に関する協定を締結しました。以来、同大地域創造学部では授業の一環として、学生が田辺市の世界遺産地域などで、実際に現地へ足を運び、地域の人々と触れ合いながら、調査・研究を行うフィールドワークを実施しています。

今回の報告会では、学生による同市本宮町の農文化に着目したヒアリング調査結果の報告と、田辺市を目的地とした旅行企画案を発表します。さらに、調査内容についてはコラムにまとめられ、地域創造学部・峯俊准教授と地球の歩き方 T&E 社による本学 2016 年度採択「学外機関との共同研究」の成果の一つとして、同社 web site「日本の歩き方」に掲載される予定です。

報道関係の皆様には、当報告会について取材いただければ幸いです。

1. 行 事 名 和歌山県田辺市にてフィールドワークの成果報告会
2. 日 時 2017年2月8日(水) 14:00～
3. 会 場 田辺市役所本庁舎 4階 第3委員会室 ※和歌山県田辺市新屋敷町1番地
4. 内 容 ①2016年10月実施のフィールド調査内容を踏まえた旅行企画案の提案発表
②地球の歩き方 T&E web site「日本の歩き方」掲載のコラム発表
③2016年度ゼミナール活動報告（国内／国際学会発表、各受賞など）
④2017年度活動予定
5. 参加学生 追手門学院大学 地域創造学部 峯俊ゼミ2年生 3名
6. 主な出席者 田辺市 観光振興課・企画広報課、田辺市熊野ツーリズムビューロー、熊野本宮観光協会、みくまの農業協同組合
地球の歩き方 T&E、
追手門学院大学地域創造学部 大泉英次教授、峯俊智穂准教授、
7. 内容公開 地球の歩き方 T&E web site「日本の歩き方」へ学生コラムを掲載
<http://japan.arukikata.co.jp>

この資料の配付先：和歌山県政記者クラブ、田辺記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ等

【発行元】 追手門学院 広報課 TEL：072-641-9590 坂倉・塩田